

ながさき 市議会だより

No.173

2021.5.1



定例会は年に4回

令和3年2月定例会

就任のご挨拶

長崎市議会副議長

岩永 敏博



このたび、議員多数のご推挙により第64代副議長に就任いたしました。

新型コロナウイルス感染症の収束に向けた大変重要な時期に、要職を拝し、その職責の重さに身の引き締まる思いです。

本年は、長崎港の開港から450年を迎える長崎市の歴史的な節目の年となります。

今後は、議長を補佐するとともに、議会の円滑な運営と市民の安全安心を念頭に置き、長崎市の発展に全力を尽くす所存でございます。

どうか今後とも、市民の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

琴海戸根川の桜並木

長崎フォトフェスティバル2020受賞作品
(撮影者 村井 文明さん)

主な掲載内容

ページ

- 全天候型子ども遊戯施設の建設が始まります
2月定例会の概要…………… 2～3
- 一般質問 …………… 4～6
- 特別委員会からの報告 …………… 7
- 議決結果（予算・条例など）…………… 8～9
- 常任委員会における審査の主な内容 …… 10
- 議員提出議案、人事、陳情、議会の動き … 11
- 各委員会の構成など …………… 12

本会議の様様を長崎ケーブルメディアやインターネットで生中継しています。

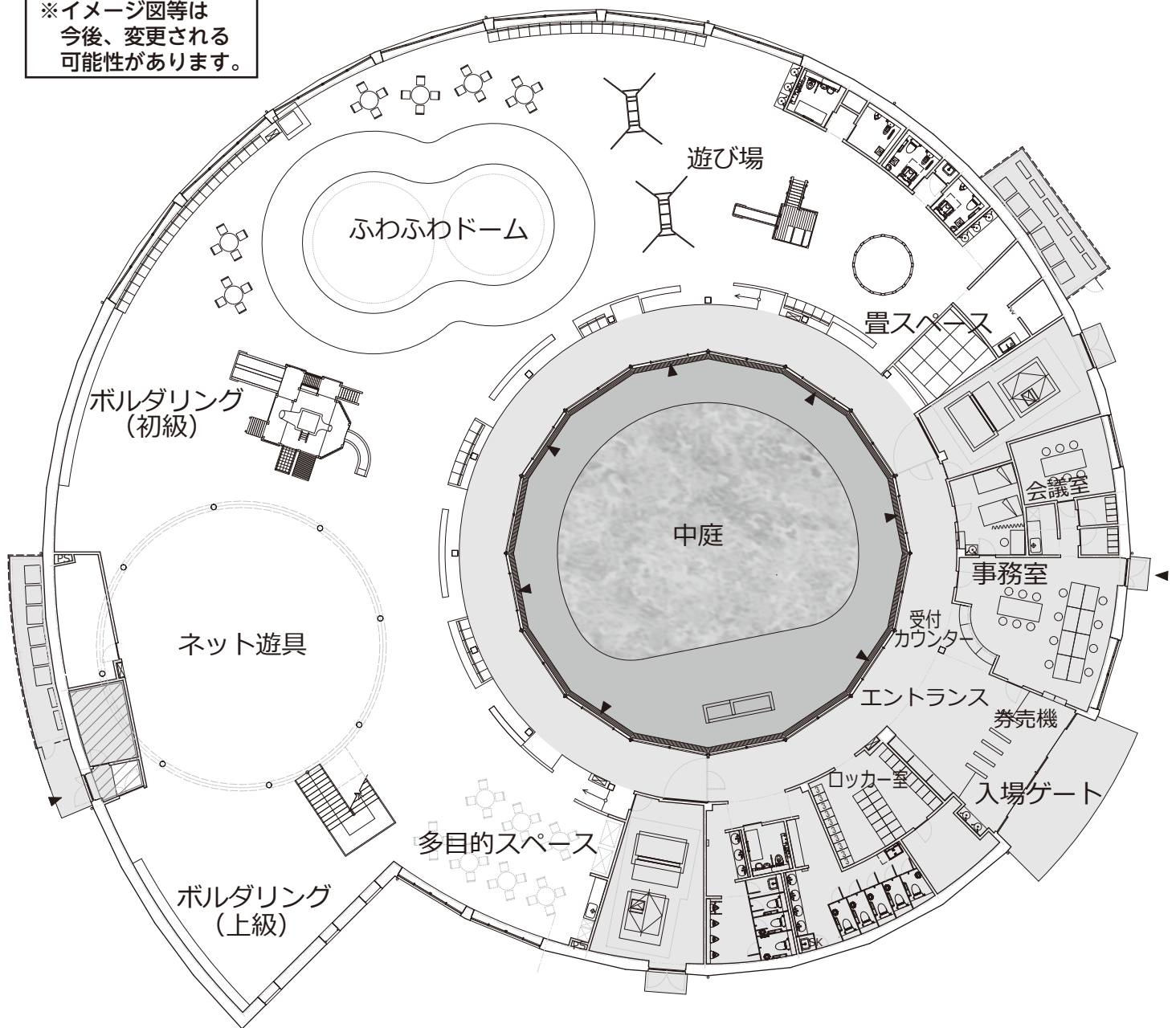
また、インターネットでは録画中継もご覧になれます。YouTube(ユーチューブ)でも視聴できます。

長崎市議会

検索

全天候型子ども遊戯施設の建設が始まります

※イメージ図等は
今後、変更される
可能性があります。



◆概要・審査結果

2月定例会では、教育厚生委員会において、令和3年度から実施する子ども遊戯施設の建設工事費の予算審査を行いました。施設の建設工事を令和4年7月頃まで行い、周辺の既存建築物の改修工事や外構工事等を終えた後、令和4年9月の供用開始が予定されています。

委員会では、子どもたちの安全に配慮した室内レイアウト等の検討状況、ユニバーサルデザイン遊具の選定経過、障害者等の利用を想定した施設内外のトイレの整備計画、施設の管理運営方法の検討状況、既存施設の解体工事に係る市民活動団体や店舗への影響について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、委員会では、全ての子どもを対象にしたユニバーサルデザインを指すとともに、車椅子利用者等の駐車場から施設への動線などについての配慮を行ってほしい、あぐりの丘全体の課題解決及び魅力ある施設づくりにより局横断的に取り組むとともに、園内の移動においては、自動運転などの新技術に対応できる整備についても検討してほしいとの要望等を付した賛成意見が出され、本会議でも原案のとおり可決しました。

令和4年9月の供用開始を目指し、いよいよ子ども遊戯施設の建設が始まります。

次の時代を担う子どもたちが豊かな自然環境の中で思い切り遊び、成長できるように、全天候型の子ども遊戯施設があぐりの丘に整備されます。



▲外観イメージ図



▲内観イメージ図

2月定例会の概要

令和3年2月定例会を次のとおり開催しました

2月22日	市長の施政方針説明、 常任・議会運営委員の 選任、 議案上程(委員会付託) 常任委員会
2月25日 3月1日	常任委員会
3月2日	本会議(追加議案上程 (委員会付託)) 常任委員会
3月3日 ～5日	常任委員会
3月9日	本会議(委員長報告等、 特別委員の選任)
3月11日	本会議(市政一般質問)
3月12日	本会議(市政一般質問、 追加議案上程等)

議決結果(詳細はP8、9及び11)

市長提出議案

原案可決54件、

人事案件同意3件、

専決処分承認4件、

専決処分の報告4件

議員提出議案

原案可決2件

一般質問

(会派代表質問)

市民クラブ

新たな文化施設の進捗

問 新たな文化施設を現市庁舎跡地に建設することが昨年決定されたが、今後のスケジュールと建設費用を伺いたい。

答 現在は、今年秋を目標に基本計画の策定を進めており、令和4・5年度は基本設計、実施設計を行う予定である。その後、新市庁舎への移転後に現市庁舎の解体と埋蔵文化財調査を行い、建設工事に2年程度を見込んだ場合、令和8年度中の完成を予定している。

建設費用は、平成28年に38億2千万円と示していたが、建設資材費や労務単価が高騰しており、ホールを1200席程度に増やすなどの整備を行った場合、建設費がさらに増えることが見込まれる。今後、基本計画を策定していく中で、施設の規模、機能と併せて建設費も示すとともに、財源確保についても検討していく。

長崎のもぎき恐竜パークの指定管理者の公募

問 令和3年1月7日までの公募で応募がなかった理由と、再公募で見直された内容を伺いたい。

答 応募に至らなかった理由については事業者アンケートを実施した結果、指定管理委託料の上限額が低かった、恐竜パークを構成する施設ごとの制限等が多かったなどの意見があった。

この結果を踏まえ、集客を強化するためのプロモーション経費を増額するとともに、恐竜パーク全体の指定管理委託料の上限の枠内で構成施設ごとの収支の提案を可能としたことや、市外の事業者も単独での応募を可能としたことなど、募集要項や仕様書の一部を見直し、2月15日から4月19日までの期間で再度公募を行っている。

南総合事務所が所管としてしっかりと取りまとめ、まずは指定管理者の選定を確実に進めたい。



▲建設が進む恐竜パークの工事風景

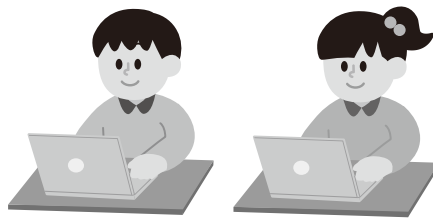
自民創生

GIGAスクール構想の本格的な取組

問 令和3年度からの本格的な運用に当たり、実行計画や課題を含めた本市の取組について伺いたい。

答 令和2年度中に児童生徒1人1台の学習者用コンピュータの整備が完了する。まずは、全ての学校において、学習のねらいに沿った有効活用を目指すため、令和3年度から2年間、学習者用コンピュータの利活用を先進的に研究する小中学校7校をモデル校に指定し、オンラインやオンラインを含めた授業公開などにより研究を進めていくとともに、令和3年度中に家庭での活用も先行実践し、その成果や課題を全ての学校に発信していく。

また、各学校へは、ICT支援員や情報教育研究推進員による定期的な学校訪問や、専門的なインストラクターによる教職員への研修等を実施し、効果的な活用につなげていきたい。



長崎商業高等学校の学科改編

問 長崎商業高等学校学科改編審議会からの意見の内容と、学科改編に向けたスケジュールについて伺いたい。

答 審議会からは、学科改編について、伝統ある商業科に加え、スポーツビジネスに関する学科と情報分野に関する学科の2つの新学科の設置を検討してほしいこと、専門科目を担当する人材の確保ができた段階で新学科を設置するなどの柔軟な対応をしてほしいこと、中学生や保護者に対する広報をしっかりと行なってほしいことなどの意見が出された。

教育委員会としては、審議会からの意見を踏まえた学科改編を進めるとともに、市独自の人材確保の見通しが立った上で、新学科の設置を決定し、できるだけ早い段階での学科改編を目指したい。



▲長崎商業高等学校

明政クラブ

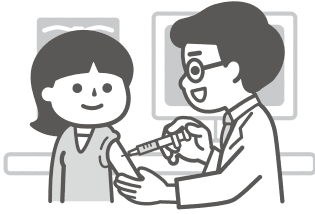
新型コロナウイルスワクチン接種の
仕組みづくり

問 本市の接種スケジュールと、個別接種に協力いただける医療機関数、集団接種の会場やスタッフの確保の進捗状況、ワクチン移送計画を伺いたい。

答 4月中旬頃から、65歳以上の高齢者への接種を限定的にスタートし、十分な量のワクチンが供給され次第、本格的に実施していく予定としている。

接種の実施方法は病院、診療所による個別接種を基本とし、現在、263の医療機関から実施可能との回答をいただいている。併せて、高齢者入所施設や離島などでの実施に加え、集団接種の補完的な実施を検討しており、会場選定や実施体制の準備を進めている。

また、ワクチンを一括管理する集積所を本市が確保した上で、効率的な搬送を行えるよう個々のケース別に搬送計画を作成していく。ワクチンの安全性や有効性、副反応などに関して分かりやすい情報発信を行い、接種を受けていただくよう努めたい。



出島メッセ長崎におけるMICEの
誘致状況と課題

問 今年11月の開業に向けた現在の誘致状況と、年間来場者数61万人の目標達成に向けた取組について伺いたい。

答 本市と株式会社ながさきMICE、DMOが連携して誘致を進めており、現在の利用想定人数は約40万3千人、66%と2月末の到達目標値を達成した。

開業月である11月には61万人に到達することを目標に掲げ取組を進めており、コロナ禍においてもダイレクトメールや電話での営業を継続してきたほか、長崎大学において200人以下の学会等を対象とした初回限定割引制度の創設を行っている。

さらに、プラズマクラスター技術を導入したエレベーターの設置など最新の感染症対策や大容量の通信環境など施設の強みをPRするとともに、訴求力のあるパッケージプランの提案やウェブ広告を活用した新規顧客の獲得など、主催者を選ばれる工夫を続け、目標達成に向けしっかりと取り組んでいく。



▲コンベンションホールのイメージ図

公明党

核兵器禁止条約締結国会議に
おけるSDGsの視点

問 核兵器は、SDGsの要石となる人権や人道、環境や食料などに深刻な影響を及ぼすため、締結国会議にSDGsの視点を加えることで討論への参加を幅広く働きかけられると考えるが、見解を伺いたい。

答 SDGsは、経済や社会、環境などの広範な課題に対し、人間の安全保障の理念のもと、2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標であり、多くの国、人々に認知された世界全体で取り組むべき目標である。

このSDGsと核兵器の関係性を示し見解を述べることは、多くの共感を呼び、賛同者を広げることにもつながるものであり、その視点を踏まえた平和アピール活動を行うことは大変意義があると考えられる。

現在、締結国会議の詳細は未発表であるため、情報収集に努め、効果的な手法について検討していきたい。

SDGs: Sustainable Development Goalsの略で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。

「子ども総合相談」のさらなる取組

問 相談窓口として分かりやすく伝える工夫を行い、子どもが安心して相談できる環境づくりに取り組む必要があると考えるが、見解を伺いたい。

答 本市では、「子ども総合相談」を設置し、社会福祉士や保健師など専門資格を持つ職員が、子どもや子育て家庭からの様々な相談に電話やメールなどで応じている。この相談先を記載したカードを、毎年、各学校を通じて児童・生徒に配布しており、相談内容に依拠や家庭訪問の実施など、個々のケースに応じたきめ細やかな支援を行っている。

今後は、身近なコミュニケーションツールとなっているLINE等のSNSを活用した相談方法の導入など、子どもがいつでも気軽に相談しやすい環境づくりに取り組んでいきたい。

悩んだら、まず相談しよう

何でも「子ども総合相談」に連絡を!

電話相談
☎ 095-825-5624
☎ 095-822-8573

来所相談
長崎市子育て支援課
(市役所別館1階)

メール相談
QRコード読み込み機能がある携帯電話の場合は下のQRコードをご利用ください。



令和長崎

海面上昇と浸水リスクへの対応

問 大雨災害や海水面上昇に対するハード整備には限界があると考えるが、今後の浸水リスクへの対応や取組を伺いたい。

答 国において、水災害リスクの高い地域からの移転や宅地かさ上げなどの対策の検討段階であり、現時点で本市独自に土地利用規制を伴う海面上昇対策を実施することは、社会経済に対する影響が大きいため、国や県の動きと運動して必要な対策が迅速にとれるよう検討したいと考えている。

地域の浸水リスクを市民の皆様把握していただくため、新たに浦上川流域の洪水ハザードマップを作成予定であり、また、県が高潮の浸水想定区域の指定に向けた動きを進めているため、告示後は早期にハザードマップを作成するよう努めていく。

こうした情報は広く周知し、市民の防災意識を高めるとともに、

マンション、オフィス等の建築計画にも生かしていただくよう、関係部局と連携して取り組んでいく。



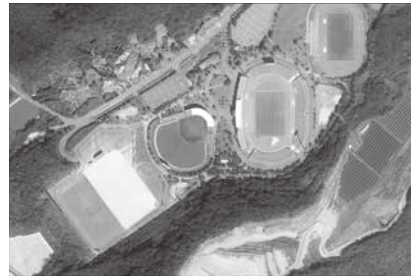
▲高潮による浸水被害 (平成24年度)

かきどまり野球場へのナイター設備の設置

問 長崎市総合運動公園のテニスコートと陸上競技場にはナイター設備があるが、野球場にはない。スポーツツーリズムなどの観点からも、野球場へのナイター設備の設置を要望したい。

答 テニスコートは平成8年の供用開始時にナイター設備を設置した。また、陸上競技場は平成26年の長崎国体開催にあわせ、国の補助金等を活用しナイター設備の整備を行った。

一方、野球場は、建設時にナイター設備を備えた県営野球場の建設が同時に進められ



▲長崎市総合運動公園(かきどまり)

たこと、軟式野球の一般競技仕様で約3億円と多額の事業費がかかることから、設置に至っていない。

現時点では、国の補助制度など有効な整備手法を見いだせないため、県営野球場などの他の施設の活用も含めて総合的に判断する必要がある、引き続き財源の確保や利用状況の把握などに努め、設置の可能性を検討していく。

日本共産党

二酸化炭素排出実質ゼロに向けた取組

問 気候変動が原因と推察される災害の軽減に向け、気候非常事態宣言を表明すべきと考えるが、二酸化炭素排出実質ゼロに向けた本市の具体的な取組について伺いたい。

答 まずは市民や事業者らと気候変動への危機感を共有し、具体的な行動を促すため、

長与町、時津町とともに3月17日に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、令和4年度の実行計画の共同策定に向けた検討を進めることとしている。



▲ゼロカーボンシティを宣言する関係者ら

また、具体的な取組は、日常生活や事業活動の脱炭素化と再生可能エネルギーの活用によるエネルギーの地産地消の拡大という方針で進め、本市においても、東工場の廃棄物発電を活用し

た急速充電設備の整備や公用電気自動車の導入拡大など、自ら率先した取組を進めていく。

ゼロカーボンシティ宣言：パリ協定の目標達成や脱炭素社会に向けて、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロに取り組むことを表明するもの。

校則の見直し

問 各地で児童生徒自身が加わり教育上の実践活動として校則の見直しに取り組んでいる。本市でも、子どもの権利を尊重する観点から見直しを進める必要があるのではないかと。

答 校則は、学校が教育目的を達成するために、必要な範囲内で児童生徒が守るべき学習上・生活上の決まりとして各学校で定められているが、学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況は変化するため、適切に見直ししていく必要がある。そのため、全ての市立学校長あてに通知文を發出し、積極的に校則を見直すよう指導を行っており、各学校の校則の内容を確認しながら、人権に配慮した運用がなされるよう指導に努めたい。

また、校則の見直しに関して児童生徒自身の主体的な関わりは重要であるため、よりよい学校生活に向けて、自ら学び考えて行動する態度を育みたい。

特別委員会からの報告

特別委員会	特別委員会	特別委員会
<p style="text-align: center;">長崎駅周辺整備・交通結節対策</p> <p>◎100年に一度となる大きなまちの進化に向け、駅周辺整備・交通結節対策に関する各種施策の実現に取り組むことを要望</p> <p>新幹線開業を前に長崎駅周辺の整備計画が一層具体化され、大黒町のバスターミナル再整備などの新たな動きもある中、これまでの議論を踏まえ、新たな整備計画を調査し、長崎駅周辺整備及び交通結節対策の推進に寄与するため、100年に一度のまちづくり資する諸方策について、調査を行いました。</p> <p>その結果、今後決定される長崎駅周辺地区などの整備計画については、長崎市のまちづくりの方向性や考えを示し、国や県などと連携して事業を進めるよう要望しました。特に、旭大橋線の側道と長崎駅西通り線との交差点付近は現状でも渋滞していることから、新駅ビルの建設を計画しているJR九州に対して具体的な交通対策を求めるとともに、渋滞しないようにハード、ソフトの両面から対策を講じるよう強く要望しました。また、バスターミナルの再整備については、交通事業者などの意見を踏まえ、適正な規模での整備となるよう国や県と連携を図り、長崎駅までのペDESTリアンデッキの建設を含めた歩行者の負担軽減に取り組むよう要望しました。</p> <p>次に、浦上駅周辺については、新スタジアム建設などの計画があることから、浦上駅のさらなる利便性向上を図り、スタジアムまでの歩行者動線は安全性の確保を最優先に検討し、周辺の渋滞対策にも取り組むよう要望しました。</p> <p>最後に、松が枝国際ターミナル方面への路面電車の延伸については、周辺地域のまちづくりの動向を踏まえながら、県や交通事業者と連携し、課題の解決を図るよう要望しました。</p>	<p style="text-align: center;">観光客誘致対策</p> <p>◎資源磨きと魅力あるコンテンツの創造に努め、戦略的な観光情報を発信し、地域住民や関係団体等と協力しながら観光客誘致に取り組むことを要望</p> <p>近年の感染症、自然災害等による観光業への影響を把握し、その対策を調査するとともに、現在の観光客誘致の在り方を見直し、長崎市の誘致体制の現状把握を行いながら、観光と長崎の様々な魅力を連動させた取組等による観光客増加を目指した観光客誘致の諸方策について、調査を行いました。</p> <p>その結果、観光業を基幹産業の1つとする長崎市においては、コロナ禍で打撃を受けている観光業や飲食店に対しポストコロナに向けた支援を実施するとともに、官民連携し、team NAGASAKI SAFETYなどの安全安心な滞在環境を高めるための取組をさらに推進することを要望しました。</p> <p>また、出島メッセ長崎の令和3年11月の開業に向け、株式会社ながさきMICEやDMOとの連携をさらに深め、文化財などの資源を活用したユニークベニユーの造成などに取り組むことで、地域への周遊を促進し、MICE開催による効果をまち全体に波及させることを要望しました。</p> <p>さらに、魚や農産物を中心とした地産地消を体感できる施設の設置について、長崎県や関係団体と早急に協議を行うよう要望するとともに、観光客への水産物のPRについては、刺身や寿司に特化するなどの絞った情報発信を行い、さらなる消費拡大に取り組むよう要望しました。</p> <p>最後に、都市間競争が厳しさを増す今後に備え、資源磨きと魅力あるコンテンツの創造に努め、戦略的な観光情報を発信し、地域住民や関係団体等と協力して観光客の誘致に取り組むよう要望しました。</p>	<p style="text-align: center;">人口減少対策</p> <p>◎全庁所属全職員が一丸となり同じ意識を持って各種施策の実現に取り組むことを要望</p> <p>長崎市は、平成30年から2年連続で日本人の社会減が全国ワースト1位となるなど人口減少が進んでおり、その中でも特に若年層の転出超過が顕著で、少子化にも歯止めがかかっていない状況であることから、長崎市の人口減少の現状と要因、課題を把握し、子育て施策や雇用の確保策、さらに長崎大学情報データ科学部の大村市移転問題への検討など、人口減少対策の諸方策について調査を行いました。</p> <p>その結果、長崎市の人口減少対策としての様々な取組は評価するものの、人口減少に歯止めがかかっておらず、新型コロナウイルス感染症の影響により、今取り組んでいる事業も計画通りに進捗しないことも考えられるため、適宜、変化や肉付けを行いながら施策に取り組むことを要望しました。</p> <p>また、平成26年に設置した長崎市人口減少対策推進本部については、定期的な会議や幹事会、部会の開催や、現役世代や若い世代の意見も取り入れるような運用を要望しました。</p> <p>さらに、子育て支援施策については、子育ての費用負担軽減や今実施している施策の周知徹底を、雇用施策については、製造業の誘致や新卒者が希望に即した就職ができるような取組を、移住施策については、移住希望者のニーズに合った取組やリモートワークによる移住への対応、ワーケーションの受入れへの取組を要望しました。</p> <p>最後に、若者が暮らしやすいまちを目指し、全庁所属全職員が一丸となり人口減少対策に関する各種施策の実現に取り組むよう要望しました。</p>

2月定例会の議決結果(予算・条例など)

議案番号	件 名	付託委員会	議決結果
第3号	令和2年度長崎市一般会計補正予算(第18号)	所管の各常任委員会	原案可決
第4号	令和2年度長崎市一般会計補正予算(第19号)	〃	〃
第5号	令和2年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算(第3号)	環 境 経 済	〃
第6号	令和2年度長崎市土地取得特別会計補正予算(第1号)	建 設 水 道	〃
第7号	令和2年度長崎市診療所事業特別会計補正予算(第1号)	教 育 厚 生	〃
第8号	令和2年度長崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
第9号	令和2年度長崎市水道事業会計補正予算(第3号)	建 設 水 道	〃
第10号	令和2年度長崎市下水道事業会計補正予算(第2号)	〃	〃
第11号	令和3年度長崎市一般会計予算	所管の各常任委員会	〃
第12号	令和3年度長崎市観光施設事業特別会計予算	環 境 経 済	〃
第13号	令和3年度長崎市国民健康保険事業特別会計予算	教 育 厚 生	〃
第14号	令和3年度長崎市土地取得特別会計予算	建 設 水 道	〃
第15号	令和3年度長崎市中心卸売市場事業特別会計予算	環 境 経 済	〃
第16号	令和3年度長崎市駐車場事業特別会計予算	建 設 水 道	〃
第17号	令和3年度長崎市財産区特別会計予算	総 務	〃
第18号	令和3年度長崎市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	教 育 厚 生	〃
第19号	令和3年度長崎市介護保険事業特別会計予算	〃	〃
第20号	令和3年度長崎市生活排水事業特別会計予算	建 設 水 道	〃
第21号	令和3年度長崎市診療所事業特別会計予算	教 育 厚 生	〃
第22号	令和3年度長崎市後期高齢者医療事業特別会計予算	〃	〃
第23号	令和3年度長崎市立病院機構病院事業債管理特別会計予算	〃	〃
第24号	令和3年度長崎市水道事業会計予算	建 設 水 道	〃
第25号	令和3年度長崎市下水道事業会計予算	〃	〃
第26号	長崎市犯罪被害者等支援条例	総 務	〃
第27号	長崎市固定資産評価審査委員会条例及び職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
第28号	長崎市附属機関に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
第29号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
第30号	長崎市立学校職員の給与、勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	教 育 厚 生	〃
第31号	長崎市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	総 務	〃
第32号	長崎市手数料条例の一部を改正する条例	〃	〃
第33号	長崎市介護保険条例の一部を改正する条例	教 育 厚 生	〃
第34号	長崎市公衆浴場条例の一部を改正する条例	総 務	〃
第35号	長崎市漁港管理条例の一部を改正する条例	環 境 経 済	〃

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
第36号	長崎市公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例	教育厚生	原案可決
第37号	長崎市道路占用料条例の一部を改正する条例	建設水道	〃
第38号	長崎市都市公園条例の一部を改正する条例	〃	〃
第39号	長崎市営住宅条例の一部を改正する条例	〃	〃
第40号	長崎市子ども広場条例を廃止する条例	教育厚生	〃
第41号	基本構想について	総務	〃
第42号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について（池島辺地）	〃	〃
第43号	財産の取得について（テレワーク対応ノート型パソコンなど）	〃	〃
第44号	財産の取得について（タブレット型パソコン及び周辺機器）	教育厚生	〃
第45号	土地の取得について（戸石町）	環境経済	〃
第46号	地方独立行政法人長崎市立病院機構第3期中期計画の変更の認可について	教育厚生	〃
第47号	公の施設の指定管理者の指定について（長崎市池島炭鉱体験施設）	環境経済	〃
第48号	公の施設の指定管理者の指定について（長崎市古賀地区市民センター）	総務	〃
第49号	市道路線の認定について（認定6件）	建設水道	〃
第50号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について（池島町）	付託省略	〃
第51号	調停について	教育厚生	〃
第52号	包括外部監査契約の締結について	総務	〃
第53号	令和2年度長崎市一般会計補正予算（第20号）	所管の各常任委員会	〃
第54号	令和3年度長崎市一般会計補正予算（第1号）	〃	〃
第55号	長崎市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例	教育厚生	〃
第56号	長崎市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例	〃	〃

※全ての議決結果は、長崎市議会ホームページでご覧になれます。

道路建設の早期完成に係る用地買収の推進に対する申し入れ

市長に対して、地域住民の利便性を高める重要な施策である道路建設に係る事業が計画通りに進んでいないことから、建設推進の要である速やかな用地買収の取組を進めていくため、次の事項について申し入れを行いました。

- ・計画された道路計画について、計画期間内の完成を目指すこと。また、その実現のため、最も重要な用地買収については、多様な経験と法令等の専門的知識を取得した職員の人材育成に努めるとともに、民間活力を活用することなどにより取り組みの改善を行い、推進すること。

その後、3月29日付で市長から、資格取得の奨励を行うなど職員的能力向上に努めることや、民間活力の活用についても令和3年度に試行的に導入していくなどの回答がありました。



▲申し入れを行う井上議長と永尾建設水道委員長

常任委員会における審査の主な内容

総務委員会

令和3年度一般会計予算（総務委員会所管部分）を可決

総務費において、総合事務所ごとに、地域の活性化や一体感の醸成につながる事業に取り組むための地域活性化事業費が計上されました。

委員会では、本予算は、これまで議会においても議論を重ねた上で始まった経緯があることから、事業成果の検証状況と今後の方針、スポーツ団体との協働事業を事業対象とすることの妥当性について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、委員会で審査した予算のうち、マイナンバー制度に係る費用については認められないなどの反対意見が出されました。

一方、市民への情報発信は、全市民に行き届く広報を推進してほしい、現市庁舎別館跡地に整備予定の公園については、長崎くんちでの活用など先を見据えて取り組んでほしい、スポーツを活用した地域活性化事業は、幅広い団体が対象となるよう検討してほしい、人口減少対策については、全庁を挙げて取り組んでほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

教育厚生委員会

令和3年度一般会計予算（教育厚生委員会所管部分）を可決

教育費において、長崎半島から発見されている多種多様な化石を有効に活用して、調査研究や展示等に資する恐竜博物館を建設するための恐竜博物館整備事業費、化石の発掘場所として民有地を取得するための恐竜化石発掘用地取得費などが計上されました。

委員会では、開館に向けた施設のPR計画、用地取得に関する地権者との協議状況、取得後の管理方法や発掘体験の場所として活用していく考えについて質すなど、慎重に審査しました。

その結果、長崎みなとメディアカルセンター前に設置する恐竜オブジェについては、観光客が博物館に行ってみたいと思えるものを設置してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。



▲市内での発掘調査の様子

環境経済委員会

令和3年度一般会計予算（環境経済委員会所管部分）を可決

農林水産業費において、いつでも新鮮な旬の魚が味わえる長崎の強みを生かすため、長崎の魚の食べ方をイメージできるような「さしみシティ」を新たなキャッチコピーとしてPRなどを行うためのさしみシティ推進事業費が計上されました。

委員会では、魚食普及の取組として効果が出ていた「魚の美味しいまち長崎」の今後の活用方針について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、委員会で審査した予算のうち、コロナ禍において出島メッセ長崎に莫大な予算を投じることは認められないなどの反対意見が出されました。

一方、さしみシティ推進事業費については、外向けの発信に力点を置いて、DMOや経済3部局が連携して事業を推進してほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。



建設水道委員会

令和3年度一般会計予算（建設水道委員会所管部分）を可決

土木費において、長崎駅周辺エリア内の施設相互間のデザイン調整や、長崎駅舎・駅前広場等のデザイン検討などを行う長崎駅周辺エリアデザイン検討費が計上されました。

委員会では、新幹線の開業が迫る中、多額の費用を投じることの妥当性や、駅周辺デザインに当たって、ワークシヨップや市民アンケートの活用状況について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、九州新幹線西九州ルート建設に関する予算については、建設に再検討を求める立場から認められないなどの反対意見が出されました。

一方、駅舎や駅周辺の形がどうなるのか、はっきりしたものが見えないことから、今後、市民へ説明できるように事業を進めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。



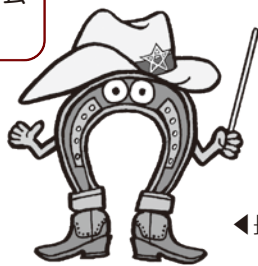
▲東口駅前広場のイメージパース

長崎市議会における新型コロナウイルス感染症に係る対応をホームページで公開しています

長崎市議会が新型コロナウイルス感染症対策のために行っている取組について、公開しています。

- ・議会運営における取組
- ・議員等が感染した場合の対応方針
- ・長崎市議会新型コロナウイルス感染症対策会議の開催状況や要望書の提出
- ・国や関係行政庁への意見書の提出 など

対策会議において取りまとめた市長への要望書及び要望に対する回答の内容は、ホームページで公開しています。



◀長崎市議会事務局キャラクター「パテイさん」

要望書の提出				
対策会議における協議並びに市民の皆様及び様々な業界や団体などからの切実な要望等を踏まえ、市民の安全安心の確保と市内の経済対策・回復に向けて不公平感が生じないよう、今後の市における対応・対策等の実施について十分に検討を求めため、市長へ次のとおり要望を行っています。				
日時	内容	要望書	回答書	
令和2年 4月24日	各党派からの感染症対策に係る市への要望等について、取りまとめを行い、要望書を市長に提出しました。			要望書 回答書
令和3年 1月21日	協力金の対象となる飲食店等と取引を行っている業種をはじめ、協力金の対象とならない業種に対する緊急経済対策を速やかに検討し、スピード感を持って実施することなどについての要望書を市長に提出しました。			要望書 回答書
令和3年 2月2日	感染拡大防止策、経済支援策などについての要望書を市長に提出しました。			要望書

長崎市議会

議員提出議案

議員提出議案の条例1件、規則1件を可決しました。

- ▼長崎市議会委員会条例の一部を改正する条例
- ▼長崎市議会会議規則の一部を改正する規則 ※1

※1の概要
 〈欠席理由など〉
 女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進するため、本会議や委員会の欠席理由に育児、介護、配偶者の出産補助等の具体的な例示を行うとともに、議員の産休期間における欠席期間の範囲（産前6週、産後8週）を明文化しました。

〈請願書への押印見直し〉
 行政手続等において原則として押印を廃止する政府の政策動向を踏まえ、市議会に対する請願書の提出時に求めている「署名押印」を「署名」または「記名押印」に改めました。

なお、陳情書についても同様の見直しを行っていますので、提出する際は、市議会ホームページをご覧ください。ただくか、議事調査課までお問い合わせください。

人事

次の人事案件について、同意することになりました。

監査委員

- 三谷 利博 氏（再任）
- 奥村 修計 議員
- 林 広文 議員

人権擁護委員の候補者

- 合澤憲一郎 氏（再任）
- 鮎川 泰輔 氏（再任）
- 椎木 紀子 氏（再任）
- 杉本 良和 氏（再任）
- 田中 法斉 氏（新任）
- 永間 逸男 氏（再任）
- 納富 重信 氏（新任）

陳情

委員会審査を行った陳情は、次のとおりです。

環境経済委員会

- ▼養生所／（長崎）医学校等遺跡の保存・保護・整備・公開に関する陳情
- XX及び長崎奉行所西役所等遺跡群の調査・保存・活用・公開・整備に関する陳情 X

議会の動き

○会派代表者の変更

新しい会派代表者は、次のとおりです。

- （1月26日） 令和長崎・平野 剛議員
- （2月16日） 自民創生・奥村修計議員
- （3月12日） 公明党・向山宗子議員

各委員会の構成が新たにになりました

常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の委員が新たに選任され、各委員会において委員の互選によりそれぞれ委員長及び副委員長を選出しました。(五十音順、◎印は委員長、○印は副委員長)

常任委員会

総務
 ◎ 山口まさよし
 ○ 梅元 建治
 五輪 清隆
 井上 重久
 内田 隆英
 平 たけし
 筒井 正興
 中村 俊介
 深堀 義昭
 福澤 照充

環境経済
 ◎ 相川 和彦
 ○ 岩永 福子
 大石ふみき
 柿田 正
 武次 良治
 中里 泰則
 野口 達也
 林 広文
 平野 剛
 山崎 猛

教育厚生
 ◎ 木森 俊也
 ○ 幸 大助
 浅田 五郎
 池田 章子
 岩永 敏博
 佐藤 正洋
 竹田 雄亮
 西田みのぶ
 久 八寸志
 向山 宗子

建設水道
 ◎ 永尾 春文
 ○ 山谷よしひろ
 梅原 和喜
 奥村 修計
 土屋 美紀
 中西 敦信
 東 竜也
 毎熊 政直
 山本 信幸
 吉原 孝

議会運営委員会

◎ 山崎 猛
 ○ 中村 俊介
 五輪 清隆
 幸 大助
 竹田 雄亮
 武次 良治
 中里 泰則
 山本 信幸

特別委員会

長崎駅周辺整備・交通結節対策
 ◎ 梅原 和喜
 ○ 柿田 正
 浅田 五郎
 大石ふみき
 木森 俊也
 佐藤 正洋
 平 たけし
 久 八寸志
 向山 宗子
 吉原 孝

ポストコロナ経済対策
 ◎ 深堀 義昭
 ○ 林 広文
 池田 章子
 奥村 修計
 土屋 美紀
 筒井 正興
 永尾 春文
 中西 敦信
 西田みのぶ
 平野 剛

ポストコロナ交流人口拡大対策
 ◎ 岩永 福子
 ○ 山谷よしひろ
 相川 和彦
 内田 隆英
 梅元 建治
 野口 達也
 東 竜也
 福澤 照充
 毎熊 政直
 山本 信幸

副議長選挙

2月定例会最終日の3月12日、向山宗子副議長から副議長の辞職願が提出され、本会議で許可されたことに伴い副議長選挙を行った結果、岩永敏博議員が第64代長崎市議会副議長に選出されました。
 就任及び退任に当たり、新旧副議長からの挨拶がありました。



▲向山宗子前副議長の挨拶

その他

◎ **社会福祉法人等無報酬役員届出書の提出**
 長崎市議会議員政治倫理条例に基づき、2月24日に岩永敏博議員から届出書が提出されました。
 お問い合わせ 議会事務局総務課
 電話 095・829・1198

○ **議員研修**
 3月24日、デジタル化の推進をテーマに、オンラインで議員研修を実施しました。

6月定例会の予定

6月11日(金)	本会議(招集日)
6月16日(水)～18日(金) 6月21日(月)	本会議(一般質問) (4日間)
6月22日(火)～25日(金)	常任委員会(4日間)
6月28日(月)	特別委員会
6月30日(水)	本会議 (委員長報告等)

※日程は変更となる場合があります。

内閣府のクールジャパン地域プロデューサーを講師にお招きし、デジタル化の手法や地方創生のための取組などについて多く議員が学びました。



▲議員研修をオンラインで開催